

VI 広報

なぜ、毎年データベース契約更新時期に苦労するのでしょうか。なぜ、来館者数が伸び悩むのでしょうか。それは、利用者や経営者に“図書館のことを分かってもらえていないから”ではないでしょうか。なぜ“分かってもらえていない”のでしょうか。それは、利用者・図書館員“双方”に“図書館(員)のできること”が“分かっていない”からではないでしょうか。

“図書館(員)のできること”の周知と認知を高めるために、利用者の知りたい、図書館員のこれに応えたいという場面を機敏にとらえ、“できること”のイメージを具体的に示す企画、これが“広報”です。

看護学生・教員・看護師は、必要とする情報と自分を結び付けてくれる人・場所そして機会を強く求めています。広報活動の具体的企画はここから出発できるでしょう。図書館(員)は学内の部門、職域の枠にとらわれないフリーの機関であることを改めて知ってもらうことも必要です。

“広報活動”が所属機関、担当者の事情に応じた工夫とアイデアが発揮されることを願い、日々の活動において目安になるよう 1. と 2. は指針となる項目を、3. はより具体的な方策を挙げました。

1. 図書館の働きとは

- 1) 図書館の存在を知ってもらうための行動を積極的に起こす
- 2) 過去・現在・未来の情報収集・発信の基地であることを目指す場である
- 3) 利用ニーズに応じて、その機能を変容することができる
- 4) 学習活動場面を拡大するのに有用な拠点である

2. 図書館員ができることは？

- 1) 図書館の働きを伝える
- 2) 利用者と対面して、そのニーズをより明確に、具体的に探ることが出来る。
- 3) 利用者と対面して、情報リテラシーを習得する援助ができる
- 4) 利用者と協働して図書館機能の、改善策を提案する役割を担う。
- 5) 所属する図書館外の資料・情報の利用につなげることができる。
- 6) 図書館(員)の倫理綱領(「知る」ことへの平等と自由)の存在を伝える

3. 広報戦略具体策

- 1) 他の図書館サービスを結合した校舎内における戦略

・利用案内(利用規則)

利用案内へのアクセス機能を広げ、年に1回以上は適宜更新しましょう。

・掲示

新着案内・新規購入雑誌を掲示するのみならず、未着の予告も目を引きます。

・図書だより

学生に作成を依頼して、利用者目線の図書室だよりも良いでしょう。

・図書委員会活動

学生と接点を持つ大事な場面です。利用アンケート以外にも日々の学生利用者の要望も直接入ってきます。学内のその他の委員会への参加も、新たな広報のチャンスと引き受けましょう。

2)学外(地域、図書館間)との関係づくり

- ・近隣の公共図書館との提携

自館の資料では追いつかない分野の利用

自館専門分野から公共図書館収集へのアドバイス

3)有効な戦略例・企画・構成活動の提案と実現に向けた展開

- ・POP・パスファインダー

新着資料や、利用者から良く尋ねられる資料にアクセスしやすくしましょう。

- ・機関リポジトリ

紀要をオープンアクセスにする。各図書館の紀要重複所蔵を無くすことです。

- ・期間展示

所属機関ならではのコレクションあるいはタイムリーな展示を定期的を実施。

調べ学習のテーマ、2年生最初の基礎看護学の臨地実習教材など。

- ・Webでの発信

図書館のホームページ、学校のホームページ、利用者の傾向に即したSNSの利用。

図書館の利用案内速報、イベント企画の案内などタイムリーな周知に便利です。

- ・レファレンス協働データベース

国立国会図書館データベースへの貢献、医学・看護学雑誌データベースへの参加は図書館員自身の情報への関心を高めると同時に看護図書館活動の知名度も上がります。機会があったら積極的に参加しましょう。

参考文献

仁上幸治. 図書館員のためのPR実践講座:味方づくり戦略入門. 樹村房, 2014.

ちばおさむ, 伊藤紀子, 松島茂. 図書館の集会・文化活動. 日本図書館協会, 1993.

特集 ミニ展示から資料室展示まで. 医学図書館, 2018;65(1):15-35.

特集 図書館の広報:紙モノ作成術. 医学図書館, 2017;64(3):116-124.

藤村三枝. どうすれば伝わるのかー効果的な広報とは. 医学図書館, 2009;56(2):136-140.

小宅哲哉. 医学図書館におけるコミュニケーションと広報活動. 医学図書館, 1982;29(2):171-177. URL:<https://doi.org/10.7142/igakutoshokan.29.171>, (accessed 2022-03-20).

特集 図書館のPR. 看護と情報, 2009;16:22-50.

特集 魅力ある図書館づくり. 看護と情報, 2007;14:15-64.

遠藤潤一. 研究発表に求められる情報デザインの基礎:スライドとポスターを効果的につくる. 看護と情報, 2020;27:46-52.

金沢みどり. 図書館サービス概論, 第2版, 学文社, 2016. (ライブラリー図書館情報学, 5)

庭井史絵. 狭義の「広報」から広義の「広報」へ. 学校図書館, 2015;778:14-16.